

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第71号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年7月9日 15時00分ごろ	
発生場所	沖縄県金武中城港 金武町所在の発電所岸壁 (概位 北緯26°26.5′ 東経127°54.0′)	
事故等調査の経過	平成21年8月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第七十五 恭海丸、749トン	
船舶番号、船舶所有者等	135180、恭海海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船尾外板を曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、金武中城港の発電所岸壁で揚げ荷役を終了し、空船で離岸作業中、右舷船首方から強風を受け、平成21年7月9日15時00分ごろ、着岸していた岸壁に左舷船尾が衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 5 海象：波高 約1.5m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、金武中城港において離岸作業中、船長が、離岸前、風向・風速などの気象を把握していなかったことから、風圧を配慮した操船を行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が金武中城港において離岸作業中、風圧を配慮した操船を行わなかったため、岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	